

2024年(令和6年)  
11月1日 金曜日  
第1961号

# 京都自動車新聞



京ト協 調査結果基に意見交換  
整備技能コン選手に聞く  
京都スバル全社員大会を開催  
中丹整備協組60周年式典  
◀ 第39回京都府中古車査定士コン

発行所 京都自動車新聞社 京都市伏見区竹田向代町 51-5 (京都自動車会館内) 電話 (075) 672-0552 ファクス (075) 682-0205 メール access@kyotojidisha-np.jp https://kyotojidisha-np.jp

## 各般の新たな局面焦点

### 岩城近運局長と団体長ら

近運局長、業界団体間で懇談会が開かれるのは2月以来8カ月ぶり。懇談会では、京都府トラック協会、京都府バス協会、京都府タクシー協会、京都府自動車販売店協会、京都府自動車整備振興会の5団体が事業概況を報告。とりわけ、労働力不足で新たな局面を迎える各種サービスが焦点となった。懇談には、自動車関連の22団体・企業から34人が出席した。



岩城宏幸局長

①2024年問題②商慣行の見直しや物流の効率化、荷主・消費者の行動変容を盛り込んだ「物流革新に向けた政策パッケージ」③荷主・元請事業者の悪質な違反原因行為を監視する「トラックGメン」④業界の多重下請け構造などを列挙。これを受け、岩城局長は「関係業界の応援で新たな政策ツールがそろって



自動車業界の今後について話し合われた懇談会

きた。物流改革は社会のインフラ改革だ。決行期と捉え、着実に取り組みたい」と力を込めた。一方、京バス協の鈴木一也会長は、これ以上の伸びしろが見込みづらい女性・高齢者の労働参加、一般ドライバーが有料で客を送迎するライドシェア事業の許可対象の拡大、自治体の地域公共交通計画の在り方などについて問題提起。これには「人材確保分野では、セカンドキャリアに踏み出す自衛官を対象としたバス・トラックの運転体験と就職説明会を京都で行う。二種免許の取得費用の支援など各種補助メニューも活用してほしい」と応じてこめた。

#### DX、コンプラ、新技術 整備・販売も課題山積

京自販の澤井孝之会長は、業務のDX(デジタルトランスフォーメーション)、ユーザーとの接点の持ち方と働き方の抜本的な刷新、コンプライアンス、カーボンニュートラル(温室効果ガス排出量を差し引きゼロにする概念)、離職を防ぐ設備投資や待遇改善に関する方針を報告。京整備の城谷忠会長も、OBD(車載式故障診断装置)検査の本格運用に向けた各種準備がおおむね順調に進められたことや、同検査などを契機とした工賃の算定根拠の洗い出しなどに関し説明を加えた。

24年 自動車関係功労者大臣表彰  
藤田氏・小田垣氏・篠川氏が受賞  
国土交通省は10月22日、2024年自動車関係功労者大臣表彰の受賞者を発表した。今回は207者が受賞し、京都からは貨物運送関係経営者で藤田博氏(76)・ヘッダ会長、自動車整備関係経営者として小田垣孝志氏(63)・小田垣自動車社長、自動車整備関係従事者で篠川浩同氏(57)・光自動車工業整備主任者らが選ばれた。各受賞者の主な略歴



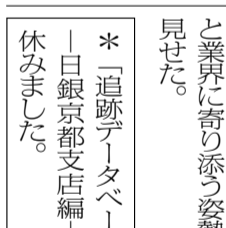
藤田博氏

府トラック協会洛南中央支部(現洛南支部)副支部長、15年4月から支部長。09年5月から京ト協理事。07年10月同団体の本部(現タンプトラック部)副部長、13年7月に同部会会長に就任した。他団体では、17年6月京都府自動車整備振興会理事、15年11月に京都府南陸奥物産協同組合代表理事。



小田垣孝志氏

から15年5月まで同整備委員会委員長。篠川浩同氏(1967年4月生まれ)1986年3月、光自動車工業吉祥院営業所整備部門に配属、2001年9月整備主任者、03年9月整備主任者兼自動車検査員、20年6月電子制御装置整備の整備主任者兼自動車検査員。



篠川浩同氏

「追跡データベース 一日銀京都支店編」休みました。